

<歴史文化学科> (認定課程: 中学校1種(社会) )

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	1 Semester	「教科に関する科目」においては、日本史・外国史の区分では、「近世史概説」「近代社会の形成と東アジア」を必修科目として履修し、歴史学の基礎を習得する。地理学の区分では、「人文地理学」を必修科目として履修し、地理学の基礎を習得する。法律学、政治学の区分では「法学」を、社会学、経済学の区分では「文化人類学」を必修科目として履修し、それぞれの基礎的な力を養う。また「教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	2 Semester	「教科に関する科目」においては、日本史・外国史の区分では、「古代中世史概説」「近現代史概説」を必修科目として履修し、歴史学の基礎を習得する。地理学の区分では、「地域らしさの探求」を必修科目として履修し、地理学の基礎を習得する。法律学、政治学の区分では「日本国憲法」を、哲学、倫理学、宗教学の区分では「宗教学概論」を必修科目、「民俗芸能論」を選択必修科目として履修し、それぞれの基礎的な力を養う。また「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
2年次	3 Semester	「教科に関する科目」においては、日本史・外国史の区分では、「東洋史概説」「西洋史概説」を必修科目として履修し、外国史の基礎知識を習得する。地理学の区分では、「地誌Ⅰ」を必修科目、「自然地理学Ⅰ」を選択必修科目として履修し、地理学の基礎知識を習得する。哲学、倫理学、宗教学の分野では、「日本思想史」を選択必修科目として履修し、その基礎知識を習得する。また「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	通年	「教職に関する科目」においては、「社会科教育法」を必修科目として履修し、社会科における指導内容及び指導方法の基礎を学ぶ。
3年次	5 Semester	「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	6 Semester	「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	通年	「教職に関する科目」においては、「社会・地理歴史科教育法」を必修科目として履修し、社会・地理歴史科における指導内容及び指導方法について理解を深める。
4年次	通年	「教職に関する科目」においては、「教育実習Ⅰ」を必修科目として履修し、十分な事前指導の後に教育現場に参加することを通して、社会科における授業実践の基本的力量を身につける。「教育実習」終了後は、事後指導として、教科指導のみならず、教師としての職務についての理解を深める。

<歴史文化学科> (認定課程: 高等学校1種(地歴) )

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	1 Semester	「教科に関する科目」においては、日本史の区分では、「近世史概説」「古文書読解入門」を必修科目として、「日本文化史」を選択必修科目として履修し、日本史を学ぶ基礎を習得する。人文地理学・自然地理学の区分では、「人文地理学」を必修科目として履修し、地理学の基礎を習得する。また「教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	2 Semester	「教科に関する科目」においては、日本史の区分では、「古代中世史概説」「近現代史概説」を必修科目として履修し、日本史を学ぶ基礎を習得する。人文地理学・自然地理学の区分では、「地域らしさの探求」を必修科目として履修し、地理学の基礎を習得する。また「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
2年次	3 Semester	「教科に関する科目」においては、外国史の区分では、「東洋史概説」「西洋史概説」を必修科目として履修し、外国史の基礎知識を習得する。人文地理学・自然地理学の区分では、「自然地理学Ⅰ」を必修科目として履修し、地理学の基礎知識を習得する。また「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	4 Semester	「教科に関する科目」においては、人文地理学・自然地理学の区分では、「歴史地理学」「自然地理学Ⅱ」を必修科目として履修し、地理学の基礎知識を習得する。また「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
3年次	5 Semester	「教科に関する科目」においては、日本史・外国史の区分では、「近代社会の形成と東アジア」を必修科目として、日本史の区分では、「近代史特論」「尾張三河戦国史論」を選択必修科目として履修し、近現代の日本と世界の関わりや地域社会の歴史と文化について理解を深める。人文地理学・自然地理学の区分では、「地誌Ⅰ」を必修科目として履修し、地誌についての理解を深める。また「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	6 Semester	「教科に関する科目」においては、日本史の区分では、「尾張三河と織豊政権」「近世史特論」を選択必修科目として履修し、地域社会の歴史と文化を含め歴史についての理解を深める。人文地理学・自然地理学の区分では、「地誌Ⅱ」「民俗芸能論」を必修科目として履修し、地誌や人文地理についての理解を深める。また「その他教職課程に関連のある科目」の学修において、学科の専門教育と関連づけて理解する。
	通年	「教職に関する科目」においては、「社会・地理歴史科教育法」を必修科目として履修し、社会・地理歴史科における指導内容及び指導方法について理解を深める。
4年次	通年	「教職に関する科目」においては、「教育実習Ⅱ」を必修科目として履修し、十分な事前指導の後に教育現場に参加することを通して、社会・地理歴史科における授業実践の基本的力量を身につける。「教育実習」終了後は、事後指導として、教科指導のみならず、教師としての職務についての理解を深める。